

令和元年第1回龍ヶ崎地方衛生組合管理者等会議（抜粋）

と き 令和元年7月5日（金）午後2時
ところ 龍ヶ崎地方衛生組合会議室

〔途中省略〕

○中山一生管理者 次第の協議事項（2）その他とございます。その他の案件として、私のほうから一部事務組合の複合化、統合に関する所信を述べさせていただけたらと思いますので、ちょっと時間をいただければと思います。

この衛生組合の管内、8市町村あるわけですが、衛生土木さんもありますし、取手市さんにおいては、またほかの事務組合等あるとは思いますが、私が管理者を務めさせていただいております、この衛生組合と稲敷地方広域市町村圏事務組合、龍ヶ崎地方塵芥処理組合の3組合の統合に関しては、以前、もう2年ぐらい前になるかと思いますが、複合化についてちょっとお話をさせていただいたことがございました。

その際には、事務局が調査をしていただいたり、あと複合事務組合のある自治体に視察に行ったりというようなこともさせていただいてきたところでございます。

今日は、このお話をするに当たりまして、今申し上げます、この衛生組合と、この組合はもちろん、稲敷広域そして塵芥処理組合の事務局職員も同席をさせたいと思いますので、よろしくお願い申し上げます。

今日は全員、市町村長さん御揃いですので、皆様と意見交換をしてみたいと思いますがよろしいですか、お時間いただいて。よろしくお願い致します。

〔稲敷広域事務局・塵芥事務局入室〕

○荒井事務局長 それでは、私のほうから同席をさせていただきます職員を紹介させていただきます。

初めに、稲敷地方広域市町村圏事務組合です。事務局長の富田です。

○富田事務局長 富田です。よろしくお願い致します。

○荒井事務局長 管理課長の黒田です。

○黒田管理課長 黒田です。よろしくお願い致します。

○荒井事務局長 続きまして、龍ヶ崎地方塵芥処理組合です。事務局長の岡田です。

○岡田事務局長 岡田です。よろしくお願い致します。

○荒井事務局長 事務局次長の小杉です。

○小杉事務局次長 小杉です。よろしくお願い致します。

○荒井事務局長 どうぞよろしくお願い致します。

○中山一生管理者 それでは、お話を続けさせていただきますけれども、広域行政ということで、この地域は先ほど申し上げましたように、いろいろな多層に広域行政が行われて

いるということで、ちょっと比較対照は難しいんですけれども、私は比較的広域行政の進んでいる地域ではないのかなというふうに感じているところでございます。

そんな中で、やはり一部事務組合ということで、それぞれの自治体の一部事務を担っているわけではございますけれども、それぞれが管理部門、総務部門などが独立しているということで、この部門に関しましては、専門的な部門以外は統合によるスケールメリットを出していくことができるのではないかと、または人事面でも、それぞれが事務局は大きな組織にはなっておきませんので、その組織を効率化させて、人事的にも流動的、流動性を持たせるということが、この組織にとっても活性化につながっていくのではないかとこの思いがございまして、以前から提案をさせていただいているところでございます。

ただし、それぞれが独立した地方公共団体でもありますし、それぞれがそれぞれの歴史を持っているところでございます。

また、職員の処遇などの問題などもありますので、一筋縄でいくことではないというのは承知をしているところではございますけれども、事務局のほうにも私のほうから思いを伝えた中で、これまでもさまざまな調査、検討を進めてきていただいているところでございます。

4月からまた、事務局長も体制も新たな体制になっておりますので、その中で具体的なお話に移らせていただけたらというふうに考えているところでございます。

この際には、やはり各自治体の担当部局または財政部局などのご理解、ご協力いただかないとなりませんので、この場をおかりして首長の皆様には思いを伝えさせていただければと思います。

そして、もう一つはやはり以前から申し上げておりましたけれども、議会の問題がございまして。

私も、この間、議会議員の皆様にはいろいろ意見を伺って、この話をさせてきていただいたところですが、全員に聞いたわけではありませんが、おおむね、もう異論はないというような話をいただいております。

ということで、各自治体の議会の議決もいただかなければならない案件でございますので、議会との話もしっかりとしていかなければならないのかなと思っております。各自治体の議会に加えて、当然、組合議会もございまして、その両者の議員の皆さんとの協議が大変重要であろうと考えているところでございます。

この件に関しましても、やはり首長さんのご理解、ご協力が必要なのかなと思っております。

ということで、複合事務組合、組合の統合、これはこれからの広域行政さらに発展させていく上では、この時代の要請でもあるのかなという思いもございまして、この件について今日は全員お揃いですので、首長の皆様からもご意見をいただきながら、今後の方針等について方向性を定めてまいりたいと思っておりますので、ご協議をいただければと思います。

よろしく願いいたします。

皆様から何かご意見があれば、お願いいたします。

○雑賀正光副管理者 具体的に、この案か何か、今からつくるんでしょう。

○富田事務局長 富田です。よろしく願いします。

これから案をつくりまして、ある一定の資料ができた段階で、衛生の管理者等会議が8人そろっていますので、この会でお話させていただいてという形になっていくかと思うのです。また、その前に了解を得ましたら、8自治体の担当課長さん方の会議もつくって、そこで協議をして上にどんどんを上げていくという方針。

以前、阿見と稲敷広域で広域化したような形で、任意の協議会方式でもつくって話したらどうだ、スムーズにいくんじゃないかというイメージは持っております。いずれにしても、これから案はつくって、デメリット、メリットとも研究していきたいということです。

○雑賀正光副管理者 それが出てくれば、首長さん方含めて、議員さん方も検討できるんじゃないですか。たたき台がないと、検討のしようがないでしょう。

○藤井信吾副管理者 私は、この問題を考えるときに、消防部分は大変大きな図体ですよ。消防以外の塵芥とか衛生とかの部分と少し根っこを分けて考えてもいいのかなと思っていますところはあります。

一例でいいますと、取手と守谷とつくばみらい市で火葬場の運営をやっているんですけども、その火葬場の運営の事務組合は、取手市職員が事務局を持っていて、それで、つくばみらいとか守谷とかは事務費を取手市に納めるということでやっているのです、プロパーという人はいないんです。だから、その火葬場運営が最小限の人数でできるようになれば、取手市職員の中で、今まで4人雇っていたのを2人にして、その分、負担金を減らして差し上げるということもできるし、何もプロパーの人新採で採用しなくても、取手市の職員でちゃんとできる人、どこかで育成した人で使える人を人事異動で使うってことはできていて。だから、必要じゃなくても、人を最後どうするという問題も考えないで済む体制になっているんです。

ただ、今ある複数の事務組合の中でどういうふうに運営するかという問いになれば、当然、一番大きいのは稲広であり、消防の人たちでしょうから、それは参考にもならないかもしれませんが、消防以外のところは、実は龍ヶ崎市役所の職員が全部仕切って、我々はその分担金だけ払うというような方法は、あるにはあるんですよ。これは一案ですけども。

○雑賀正光副管理者 そういうことも、やっぱり事務方として、いろいろ考えないといけないね。

○富田事務局長 取手市長さんもおっしゃいましたように、今の事務委託方式という形式なんですけど、いろいろ3組合でメリット、デメリットを研究して、いろいろな事務の委託がいいのか、やっぱり広域という組織をこのまま残して、将来にわたって大きい広域組合

をつくってやっていくのがいいのか、いろいろ手法とかは出てくると思うんで、それぞれの自治体の幹事（担当課長）の皆さんにもいろいろな意見を聞きながら、作業を進めさせていただくと。現時点では、何のたたき台もない中での話なので。

○雑賀正光副管理者 頭いいんだから、考えてくれよ。それをもって、みんなで考えるしかないでしょう。今、藤井さんが言ったように、そういうアイデアもあるわけだから、いろいろ各自治体も含めて、詰めるの大変だろうけれども、調整を図りながら、ひとついいアイデアを出してもらえれば、検討する価値はあるでしょうから。

○中島 栄副管理者 稲敷市と美浦で江戸崎地方衛生土木組合って、ごみ収集と焼却、それと聖苑香澄というあれもやっているんですけれども、ちょうど今度発注をして、ごみ焼却施設を新しく建てかえて、改修してやるんですけれども、斎場に関しては来年4月から指定管理で運営をやるということ、ほぼ方向性が決まって、今年のうちその事業者に運営方法を選択して、来年4月から変えようという。職員がもう行かなくても、火葬するのにも、いいかげんなことは今できないんで、そのデータだけを常に斎場から連絡をもらっておけば、民間でも十分可能ではないのかなということ、江戸崎衛生土木は、斎場のほうは職員ではなくて民間に委託しちゃうと。

当座、1年目あたりは担当が張りつく可能性はありますけれども、そうすると今、4人とか5人いる職員をどのように配置するかという部分も今度出てくるんで。だから多分、今日、箕市長もいるんだけど、一部事務組合の職員の、ここも稲敷広域、それから龍ヶ崎衛生もあるんで、いろいろな人事交流も含めて、いろいろな部門で職員が経験してもらえれば、マルチに仕事ができるのではないのかな。

でないと、一つのところにずっと30、40年近くも働いていたのでは、少しずつが出てくる可能性もないとは言い切れないので、その辺は交流が一番大事な事かなというふうには思っているんで。

そういうたたき台を、稲敷広域と龍ヶ崎は大きいんで、そこで出てきたものを今度は人事の中の交流もできるようになれば、少しは職員の中の活性化もされていくんだらうと思いますので、だから、いいたたき台をつくっていただければ、参加していく方向になるしかないのかなというふうに思っています。

○中山一生管理者 ありがとうございます。衛生とか塵芥は、塵芥は採用しているけれども、衛生組合の事務局、稲広も採用はずっと長くしていないみたいで、どうしても組織的に循環性がだんだん失われてくるような状況にはなっていますので、そういう意味でも、この複合化の必要性というのは課題。

せっかく、この際ですので、何かあればお願いいたします。

○根本洋治副管理者 消防と塵芥とは性質がちょっと違う。ましてや取手市さんは消防違うし。消防のほうも、もっと広域的にやろうという話もありますよね。その辺も考えてどうなのかな。

塵芥と衛生って比較的、そんなに。消防もちょっと性質が違うんで、一緒にしちゃって大丈夫なのかなと。うまくできればそれが一番いいですよ、いろいろなことができれば一番いいですけども。

○雑賀正光副管理者 現場は、まさか違うところに行けないから。事務局とか。

○中山一生管理者 その部門が、どうしても重なる部門だと思います。ただ、その交換が目的ではなくて、効率化、また、ひいては負担金の減につながらなければならないということも考えた中での今回の提案ですけども。

○藤井信吾副管理者 今、消防の話が出たので、ちょっと申し上げておくんですけども、地域手当というのがどんどん、このところ上に上に勧告水準が引き上げられて、実勢の支給率も上がってきたんですね。上がる前だったらよかったんですけども、というのがありまして。

例えば、取手が16%の勧告水準で、実支給水準が10パーなんですね。たしか守谷が15%の勧告水準で10パー出していたかと思いますが。もともとは3パーだったのから、ずっと引き上げてきたわけです。勧告水準が高いので。

今、龍ヶ崎市さんが、勧告水準が10パーに引き上がっているということで、稲広さんは4パーだったっけ、7パーか。

○中山一生管理者 稲広は1なんです。

○藤井信吾副管理者 1か。だから、そういうところが結局、地域手当という制度が当たり前みたいに思われちゃうと、あるいは龍ヶ崎市の例によるみたいに、例えば県南水道とかそうになっているところもあるんでしょう。広域の中で、龍ヶ崎市さんの水準、例によるみたいに。そういうふうになると、消防って合併をしちゃうと、大きいところは、今まで高くもらっていた人たちを、ちょっと中間値で申しわけないけれども合わせるねっていうのは、なかなかやりづらいところがあって、そうすると今まで出してなかった水準のところを高いほうに合わせなきゃいけないみたいなことになったら、拠点数を集約しても、人件費を上げるほうがよっぽど支出増なんじゃないかっていう部分も大概あるわけですよ。だから、そこらの問題が一つ。

もう一つは、これは個人的な考え方ですけども、県南の消防の統廃合だとか、統合の中の図案が、石岡やら、かすみがうら市まで含む、100万人構想になっているから。そうすると、人がまばらにしか住んでいない、ごめんなさい、該当の人に言わないでね。人がまばらにしか住んでいない、湖とか山のほうとかまで入れちゃうと、せつかくここに人がぎゅうっとまとまって住んでいるからこそ効率的にやれている資源を、ばらすだけで何の意味だろうという、この二つがあって、私は、取手は消防は、つくばと土浦が単独で行く間は単独で頑張っていこうかと思っているんですけども、今のところは。でも、常総広域に入っても、管理者視察ないし……。

○中島 栄副管理者 それは別だろう。

- 藤井信吾副管理者 入るときは、こっちのいいかなと。
- 中島 栄副管理者 やればいいでしょうよ。
- 藤井信吾副管理者 最後の話で。
- 中山一生管理者 衛生と塵芥の場合は、勤務地が龍ヶ崎市なので、龍ヶ崎に合わせて、龍ヶ崎は8%だよ。
- 荒井事務局長 9です。
- 中山一生管理者 9に上げたんだっけ。
- 荒井事務局長 10のところを9。
- 中山一生管理者 9まで上げたんだ。9なので、その辺は。
- 藤井信吾副管理者 もう9に上がったんだ。
- 荒井事務局長 準じていますので。
- 藤井信吾副管理者 またそれから県南水道にも影響を与えるわけだよ。
- 中山一生管理者 実際に、消防職員は1%で、やっぱり職員同士交流ありますから、1割近く格差があるというのは、モチベーションの問題もありますので、これはこの後、稲広のほうの管理者会議で、ちょっとお話できればしようかなと。やっぱりちょっと、みんな取手とかつくばとかに職員がとられちゃいますので、給料も高いので。
- 藤井信吾副管理者 勧告水準を出せるところもあると思いますから、あえて申し上げておくんですけども、この地域手当の勧告水準って納得感がないものになっています。なぜかという、柏市の勧告水準は6パーなんです。柏市は実際の支給水準6パーなんです。柏が6パーで龍ヶ崎が10パーというのはないだろうというふうに普通思うんですよ。だから取手が16パーってあり得ると、柏が6パーでね。じゃあそこら辺が本当に何か納得感がないものだから、あれに引きずられるのもいかなってところはあると思うんです。
- 中山一生管理者 県は何%だっけ。6パー。
- 富田事務局長 県は5.1です。
- 中山一生管理者 5.1。
- 富田事務局長 28年度から5.1。
- 中山一生管理者 もう全部バサッて上げるわけじゃないですか、県は。
- 千葉 繁副管理者 私は国会へ陳情しに行ってきました。みんな持っていかれちゃいますよね。うちはゼロなので。この辺は地域手当は出ていないですから。
- 中島 栄副管理者 阿見も出していないんだよな。
- 千葉 繁副管理者 はい。前の物価手当ですよ。
- 藤井信吾副管理者 そうなんです。それでそのときに、東日本大震災があった3年か4年後ぐらいに、国家公務員のボーナスを下げたときがありましたでしょう。そのときに地方公務員に、我々自治体にも連動しろみたいな話があったわけです。

そのときに、行革ができているところは別にペナルティ課さないよみたいな話があった

ときの、その行革のところはラスパイレース指数でいくわけですよ。ラスが取手、例えば高いじゃないかみたいな言われ方するんだけど、地域手当が当時は16%に対して、たしか6パーか何かだと思えるんですけども、16分の6で泣かせ率といえ、その泣かせ率の16分の6で泣かせているわけだから、その部分も結局、行革効果で見てくれないとおかしいだろうと言ったら、当時の自治行政局長だかが、事務次官になった人が、今の市長さんの言っているのは違うんですよ、地域手当はラスの外枠ですからラスの中で決めます、はい終わりみたいな感じで、ばかにしやがってみたいな感覚なんですよ。

今の地域手当って本当は、ローカルの中でしか異動しない人にはない発想で、国の国家公務員のどこに行っても給料が割増ししないっていう制度だから、あれを我々に使っていること自体が、どこかで訴訟しようかと思っているぐらいなんですよ。

○千葉 繁副管理者 あれで公定価格の、見てるわけですよ。本当にとんでもないルールですよ。

○中山一生管理者 本当に1%で今、粘っているところですからね、龍ヶ崎。

○藤井信吾副管理者 つくばは16分の16、満額払っているんですよ。

○中山一生管理者 結局、保育士さんとか介護士さんなんかも、公立はあんまり少ないかもしれないけれども、やっぱり高いところにとられちゃう、給料の高いほうにとられちゃうっていうのがあって。

○千葉 繁副管理者 これ、結局公定価格に基づくしかないし、だから処遇改善の手当払っても、どんどん、どんどん、出すところへ行かれちゃうよね。うちは、だからその分、地域手当でうちで払おうと思うと、交付税減らされちゃうと、こういうことやっているんですよ。

○中山一生管理者 おかしいですよ。ペナルティが取られちゃいますよね。

○藤井信吾副管理者 私は言っていたんですけども、取手は何%だって言うけれども、ごめんなさいね。稲敷や河内から通っている人は、弁当と水筒持ってきたら何も消費してないだろう、取手に。

○雑賀正光副管理者 稼ぎに行っているんですから。

○藤井信吾副管理者 そういうことを考えてもらおうと、あの手当てっていうのは納得感がちょっとないところあるんですよ。

○中山一生管理者 大変難しい課題になってくると思いますよね。そういう処遇の問題というのが、一つ大きなハードルになってくるかなというふうには認識しています。

やっぱり性質が違うというのね、今、根本市長の話もありましたけれども、やっぱり勤務地がここって決まっている組合と、広域で今言ったように動いている職員とは、差別が出てしまうのもやむを得ないのかなと思います。できれば差別なくしてあげたいのはやまやまなんですけれども、なかなかそうもいきませんので、これも含めて課題の一つとして、今後検討していかなくちゃいけないと思います。

ほかにありますか。よろしいですか。

○千葉 繁副管理者 これは、藤井さんのところは、消防のほうがちらに来るとするのは、先ほどだと、今のところはこれでやっていくんだと、今のままでやっていくんだというんですか。

○藤井信吾副管理者 取手市って今、消防って160人か、それぐらい。160人いる間は単独でやってもいいのかなというふうに思いますけれども。私は思うんですね。常総広域、稲広、西南、そういうところが一緒になるぐらいのタイミングになれば、もうギブアップして腹くくるしかないだろうと思っているんですけれども。そのつくば市が……。

○千葉 繁副管理者 この仲間に入っただけだと、いろいろなことも解決してくるかなと。

○藤井信吾副管理者 ただ、常総広域、ごみのほうは取手がもちろん最大の拋出者でずっといろいろな施設やってきているわけで、今でこそ守谷5万7,000人ぐらいたけれども、昔、守谷がこんな小っちゃい町だったころ、結局、取手が資産形成したようなところがあるんで。

○中山一生管理者 よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中山一生管理者 皆さんのご意見も出尽くしたということ。

今、ご提案がありましたけれども、事務局レベルで具体的な案を、たたき台をつくっていくということで、そのような形で具体的に進めていくということで、よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中山一生管理者 前はちょっと曖昧なままで調査した段階で、まだその先進んでいなかったんですけれども、今回は具体的に進めるということで、きょうのこの会議をもって、この提案についてはキックオフしていくということでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中山一生管理者 また具体的な案や、その調査の結果など報告できる時には。

○藤井信吾副管理者 用途は1年ぐらいですか、半年。

○千葉 繁副管理者 それは、結構時間かかると思うよね。

○雑賀正光副管理者 それが出てくれば、また藤井さんのほうでいろいろ質問が出るから。

○中島 栄副管理者 時間かかり過ぎて、ここにいる人誰もいなくなっちゃう。

○中山一生管理者 そうならないように、頑張っってやってまいりますので、よろしく願いします。

○中山一生管理者 それでは、ありがとうございました。

この件については、よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中山一生管理者 その他ですので、まだほかに皆さんのほうから何かあります。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○中山一生管理者 事務局からは。

○荒井事務局長 ございません。

○中山一生管理者 ありがとうございます。それでは、よろしいですか。その他、よろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○中山一生管理者 長時間にわたりまして慎重審議、また、さまざまな貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。皆様のご協力によりまして、龍ヶ崎地方衛生組合の管理者等会議が終了することができました。

感謝を申し上げまして、議事進行のお役目をおろさせていただきます。

藤井市長様には、大変お疲れさまでございました。